



学校法人 郁文館夢学園
ID学園高等学校
古澤 勝志 校長

全日制高校と同様の手厚いサポートを 通信制高校で実現

2020年4月にID学園高等学校が開校しました。ID学園高等学校は、全日制高校の郁文館高校・郁文館グローバル高校を運営する学校法人郁文館夢学園の通信制課程です。一人ひとりの個性に寄り添った手厚いサポート体制と質の高い学びの場を提供します。

School Date

ID学園高等学校

〒389-0501
長野県東御市新張1931
東京本部校
〒113-0023
東京都文京区向丘2-19-1
TEL: 03-5842-1969

学校法人 郁文館夢学園

- 完全通信の「通信型スタイル」
- 週3・5日登校「通学型スタイル」
- 全日制的郁文館高等学校

<通信> × <全日>のハイブリッド



○場所・時間・質・量の制約を徹底的にクリア
各自にとって最適な学びを実現

通信型 (ID学園) / 通学型 (ID学園) /
全日制 (郁文館) の
コース変更・転籍が可能!

時代の変化にあわせた学校教育

創立から131年の歴史を誇る郁文館夢学園が通信制高校を開設したのは、独自の教育プログラムである「夢教育」を、時間と場所に捉われぬという通信制課程の利点を活かして、より効率的な形で提供するためです。郁文館夢学園理事長の渡邊も、高校生の時にはすでに将来の明確な目標を持っており、毎日決められた時間のなかで他の生徒と同一のカリキュラムをこなさなければならないことに疑問を持っていたといいます。同じように、将来の夢や明確な目標を持ち、その実現に向けて早く人生のフライングを切りたい子どもたちを後押しする環境を提供してあげたいと考えています。IT技術が強化し、オンライン学習が浸透してきた今だからこそ、これまで全日制的な学校教育で培ってきた本学園の手厚いサポートをより多くの子どもたちに提供できると考え、ID学園高等学校の開校にいたりしました。

「全日制」と「通信制」 それぞれのメリットをフル活用

本校は「全日制」と「通信制」、それぞれの良さを取り入れた学校教育を行っています。通常、全日制高校ではサポート体制が充実し教育の一定の質が保証されていますが、登校する時間や通学する場所には制約があります。一方、通信制高校は、時間や場所を制限されずに学べるという利点がありますが、教育の質やサポート体制についてはそれぞれの学校で大きく異なることが多いと思います。そこで本校は、全日制高校でのノウハウを活かした質の高い教育と、時間や場所に捉われずに学びを提供できる通信制高校の両方のメリットをかけたハイブリッドな教育環境を実現させました。

コースは「通信型スタイル」と「通学型スタイル」があります。「通信型スタイル」の生徒は、オンライン学習をメインとしながら、通学型コースの生徒と同時に学べるライブ授業や、自分の好きな時間に学べるオンデマンド授業、レポート提出をフォローするレポート解説授業などが受講できます。疑問点がある際にはICTツールを活用して、いつでも担任の先生とコミュニケーションをとることができ、オンラインでも手厚いサポートが受けられます。毎朝行っているオンラインホームルームも一日の生活リズムを整えやすいと評判です。

「通学型スタイル」には、最大一年間の海外留学を行う「グローバルコース」と、国内で地域の諸問題の解決に向き合う「ソーシャルコース」があり、加えて2021年度からは、より基礎学力の向上を重視した「週3通学コース」「週5通学コース」が新設されます。本校ではコースの変更も可能であり、通信型ス

タイルで入学してから通学型スタイルに変更し、通学頻度をステップアップすることもできますし、一定条件を満たせば全日制的な郁文館高校への転籍も可能です。

一人ひとりに寄り添う 個別対応カリキュラム

生徒は自身の夢や目標を記入した「夢手帳」というものを各自持っており、将来何をしたいのか、そのために必要な要素は何かということを日々意識して勉学に励んでいます。さらに本校では、その手帳をもとに毎月カウンセリングを行い、その生徒が目標や夢実現に向けて近づいているか、日々の生活において困っていることがないかなど、学習面やメンタル面、進路面においても一人ひとりサポートを行っています。

不登校を経験した生徒のなかには一斉授業のペースでは勉強についていけず立ち止まってしまう生徒もいます。そこで、本校では、一人一台iPadを貸し出して、ICTツールを用いたオリジナルAI学習を取り入れた授業も行っています。各自の習熟度に合わせて学びが進められるので、分からない教科は小学校の授業内容まで遡ることができ、小・中学校での学習に不安がある生徒さんも安心して学び直しをすることができます。

保護者の方からの感謝の言葉

これまでお話しした手厚いサポートについては、保護者の方からも評価をいただいております。先日本校で集中スクーリングを開催したのですが、参加した生徒の保護者から次の嬉しいご連絡をいただきました。内容としましては、初日のスクーリング終了後に、生徒本人から「今日は友達と一緒に帰るから迎えに来なくていいよ」という連絡があったとのこと。その生徒は小学5年生から不登校となり、以降5年間、どこへ行くにも保護者の方と一緒にいたように、本校のスクーリング参加をきっかけに、久しぶりに子どもは友達との時間、そして保護者の方は自分ひとりの時間が持てたと感謝の言葉をいただきました。

それだけでなく、スクーリングに参加した生徒さんから、「授業内容が充実していた」「話しかけやすい先生たちが多くて安心した」「学校の雰囲気が居心地良く感じた」という評価をいただき、通信型スタイルで学んでいる生徒の半数が、通学型スタイルへの移行を考えているようです。保護者や生徒から嬉しい言葉をいただけたことで、改めて一人ひとりに寄り添うサポートの大切さを身にしみて感じている次第です。ID学園高校は、「生徒の個性を日本で一番大切にしたい学校」を目指し、一人ひとりがのびのびと学べる環境をこれからも提供して参ります。